

事務事業名 延長保育事業費補助事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：309

施策：	01	子育て支援の推進	財務コード	01030205-15-245
基本事業：	01	幼児教育・保育の充実	担当部	こども部
基本事業の成果指標	待機児童数（保育所） 待機児童数（放課後児童クラブ） 保育サービスの満足度		担当課	こども政策課
			担当係	保育担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成08年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
私立保育所に入所中の児童で延長保育が必要な児童及び保護者		（事業内容） 延長保育が必要な児童を預かる保育所等に対して補助金を交付する。 実支出額から延長保育料等を差し引いた額について補助を行う。 （延長保育時間） 保育標準時間 18～19時 保育短時間 7～9時、17～19時 保育標準時間認定7～18時、保育短時間認定：9～17時 （利用料金） 3,000円/月 （保育短時間 7～9時、17～18時 100円/時間）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【根拠法令】筑紫野市延長保育事業費補助金交付要綱				
延長保育をおこなう私立保育所に人件費・おやつ代・光熱費を補助することにより、保護者の勤務状況の変化や核家族化の進行等に対応し、就労と育児の両立支援を推進し、保育を必要とする児童の福祉の向上を図る。		【補助金】・子ども・子育て支援交付金（国1/3） ・福岡県延長保育事業費補助金（県1/3）				

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標	
		実績	実績	当初	要求	計画	計画		
実施児童数	人	6,801	7,233	7,300	7,300			7,300	
延長保育が必要な人への充足率	%	100	100	100	100			100	

5. コスト									
事業費	計	千円	11,808	13,289	15,269	15,649			
	国	千円	3,936	4,767	5,089	5,216			
	県	千円	3,936	4,429	5,089	5,216			
	地方債	千円	0		0	0			
	その他	千円	0		0	0			
	一般	千円	3,936	4,093	5,091	5,217			
正職員人工数	人工		0.1	0.1	0.2				
正職員人件費	千円		782	802	1,676				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		12,590	14,091	16,945	15,649			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	（状況）令和2年度にコロナ禍で保護者の勤務状況の変化により利用者数が大きく減少した以降、減少傾向で推移していたが、令和6年度は増加となる。全ての保育施設12園において延長保育を実施しており、充足率は100%となっているため、必要な人が延長保育を利用することで就労と育児の両立を支援する目的を達成できています。（原因）勤務形態をコロナ禍以前に戻す事業所の増加により、保護者の勤務時間も増加傾向にある。								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
保護者の勤務の都合上通常の閉所時間の18時までには迎えが困難な家庭のために1時間延長して保育する。 平成8年度から実施している。 平成27年度の制度改正により延長保育事業補助金の一部（基本分）が委託費に組み込まれた。					令和7年度から3,000円/月の利用に加え、500円/日の利用が可能となった。				